

日本小児循環器学会 2016年度第3回理事会議事録簡易版

日時：平成29年3月19日（日）13:00～16:00

場所：TKP 金沢駅前カンファレンスセンター3B 会議室

議 事

I. 開会

- ・理事総数20名のうち17名の出席があり、定足数を満たすことから理事会が成立し、開会となった。
- ・議長：安河内聡理事長、議事録署名人：三谷義英理事、山岸敬幸理事

II. 審議事項

第1号議案：退会者について

総務担当の富田英理事より定款第9条3項による会費滞納退会該当者の名簿が提示され、全会一致で承認された。

第2号議案：旅費規程改訂案について

財務担当の山岸敬幸理事より、旅費規程第5条および第6条の改訂が提案され、全会一致で承認された。

第3号議案：2017年度委員会予算について

財務担当の山岸敬幸理事より、2017年度委員会予算案編成の計画が提案され、全会一致で承認された。委員会の事業予定に基づき、4月の中旬までに財務へ申請することとなった。

第4号議案：研究課題申請について

学術委員会委員長の小山耕太郎理事より、本年1月の学術委員会において条件付き承認とされていた課題A（1件）および課題B（2件）の再申請資料が提示され、課題Bについては2件ともに全会一致で承認された。課題Aについては引き続きブラッシュアップを依頼することとなった。

第5号議案：GSK社の教育事業助成について

教育委員会委員長の鎌田政博理事より、GSK社の教育事業助成への応募について提案され、全会一致で承認された。

第6号議案：次世代小児心臓血管外科育成プロジェクトについて

安河内聡理事長より次世代小児心臓血管外科育成プロジェクトの構想が提案され、審議された。日本心臓血管外科学会と共同で国へ提案するための作業班の設置について承認され、まずは現在小児心臓血管外科医として従事する会員の勤務実態調査を実施することとなった。

III. 報告事項

<理事長報告>：安河内聡理事長

1. 日本小児循環器学会事務局体制の報告

国際文献社より事務局体制について回答があった旨、報告がされた。また、夜間の事務局陪席は20時までとなったことについて了承した旨、報告があった。

2. 第55回、第56回学術集會会長選出結果について

第2回理事会において、第55回学術集會会長理事会推薦者として住友直方先生（埼玉医科大学国際医療センター）、第56回学術集會会長理事会推薦者としての山岸正明先生（京都府立医科大学）を選出した旨、報告がされた。

3. 日本循環器学会へのジョイントセッション要望書提出について

日本循環器学会に対し、ジョイントセッション開催申し込み要望書を提出した旨、報告がされた。

4. Impella 使用指針作成について

関連学会と合同でImpella 循環補助装置使用に関する適応/施設規準について作成したこと、VAD 協議会内にImpella 部会を設置するよう要望書を提出した旨、報告がされた。

5. 小児からの臓器提供に関する班会議について

厚労省で臓器提供促進のための協議を開始した旨、報告がされた。

6. HBD Children ミーティングについて

2月19日にワシントンDCで開催されたCRT2017においてHBD children working group の立ち上げが決定した旨、報告がされた。今後FDA/PMDA/産業/学会（日本の共同学会としてはJPIC学会）でnew device の導入促進を図るため協議していくこととなった。

7. 年次報告・心疾患実態調査システム進捗について

小児期発生心疾患の実態調査システム構築と専門医年次報告・更新報告システム構築の進捗について、報告がされた。現在数施設によるテストとバグの対応を行っており、2017年分の調査（2018年に報告）から使用することが説明された。

8. 成人移行医療横断的検討委員会および成人移行に関する事業報告

2017 年度中に、検討委員会にて成人移行医療に関する statement を作成する予定である旨、報告がされた。成人移行医療に関する諸事業については、横断的協力の可否について今後検討していくことが説明された。

<学術集会報告>

第 53 回学術集会会長の坂本喜三郎理事より進捗状況の報告がされた。700 以上の演題の応募があり、口演とポスターの間に E-Oral ポスターを設定し、効率よく発表の機会を作る計画である旨、説明がされた。

<各委員会報告>

1. 総務委員会：富田英理事

1-1 会員動向について

・学術集会演題登録申し込みのため、前回理事会時より入会者が約 50 名増えた旨、報告がされた。

1-2 評議員の更新申請について

・更新申請書類について最終調整中であり、3 月中には周知し、5 月の連休明けまでに提出を依頼する旨、報告がされた。

1-3 選挙管理委員会について

・2/14 に委員会が開催され、理事立候補者の申請書類について確認された旨、代理で報告がされた。投票は従来通り 4 月中に実施する。

2. 学術委員会：小山耕太郎理事

2-1 学術・国際交流委員会

2-1-1 AEPC および AHA との若手研究者交換留学について

・現時点で AHA へ 1 名、AEPC へ 3 名の派遣と、AEPC 側より 1 名の受け入れ（長野県立こども病院）を実施している旨、報告がされた。

2-1-2 学会ガイドラインの改訂作業について

・現存のガイドラインに対し、全面改訂、部分改訂、些細な改訂、改定なし、統合について意見を回収しており、長期的な整備を検討している旨、報告がされた

2-1-3 2016 年度 YIA (和文) 審査結果と各学会賞の進捗状況について

・YIA (和文) 2 名の選出を実施したこと、各学会賞の進捗状況について報告がされた。

2-1-4 山上の光賞募集への対応について

・日本病院会等が共催する「山上の光賞」の募集について検討の結果、本学会からの応募はしないこととなった旨、報告がされた。

2-1-5 海外学会とのジョイントセッションについて

・AHA2017 および AEPC2017 における JSPCCS 側の発表者について報告がされた。また、AHA、AEPC からの招請者は連絡待ちである旨、説明がされた。

2-1-6 米国小児科関連学会 2017 における発表者推薦について

・小児科学会より米国小児科関連学会 2017 への発表者推薦依頼があり、YIA 受賞者より 1 名を推薦したところ、小児科学会での選考を通過した旨、報告がされた。

2-2 教育委員会：鎌田政博理事

・学会 HP に教育関連のページを作成し、前回のアドバンスコースの動画を 4 月に配信予定である旨、報告がされた。また、学術集会時における教育セミナーの講師について承諾が得られた旨、方向がされた。来年度の学術集会時の教育セミナーについて鎌田委員長より講師案の提示がされ、学術委員会にて承認された旨、報告がされた。

2-3 プログラム委員会：石井正浩委員長 代理：小山耕太郎理事

・3/19 の委員会にて 53 回学術集会のプログラムを作成した旨、報告がされた。また、学術委員会の中でプログラム委員会を置きたいとの要望があるため、プログラム委員会を発展解消し、開催方法について検討したい旨、説明がされた。

2-4 多領域専門職委員会報告：日沼千尋委員長 代理：小山耕太郎理事

・第 53 回学術集会に向けて医師とのジョイントセッション、教育講演、ランチョン、展示などの企画を進めている旨、報告がされた。

3. 専門医制度委員会：土井庄三郎理事

・第 8 期専門医試験の実施と専門医更新審査を実施し、48 名が新たに専門医として認定され、312 名の専門医更新が認定された旨、報告がされた。

・新専門医制度について、昨年 7 月から新理事会が発足したため、今後の動向を注視する旨、報告がされた。また、日本循環器学会専門医制度委員会の動向についても説明がされた。

4. データベース委員会：三谷義英理事

・データベース事業における疾患項目の決定と定義の作成作業を実施した旨、報告がされた。二次利用に関してはこれから検討を進めていく旨、説明がされた。

4-1 心血管疾患の遺伝子疫学委員会：山岸敬幸理事

・定例の小委員会の開催、研究活動に加え、2015年度の先天性心疾患サーベイランスおよび稀少疾患登録事業の提出分結果をニュースレター原稿としてまとめた旨、報告がされた。

4-2 形態登録委員会報告：朴仁三理事 代理：安河内聡理事長

・部検標本写真の整理を開始し、レプリカを3Dプリンターにて作成中であることと、安藤コレクションの整理を行なっている旨、報告がされた。

5. 編集委員会：白石公理事

・編集委員会の開催、学会誌(和文)33-1号の発刊および2号の準備、英文誌発刊準備、ニュースレターの発刊準備を行なっている旨、報告がされた。

・小児循環器学テキストについてはアウトラインが決定済みであり、3月末に執筆依頼を予定しており、執筆は無報酬で印税は学会に入る予定である旨、説明がされた。

6. 医療安全委員会：鈴木孝明理事

・医療事故調査制度への支援団体としての制度設計および事故調査依頼システムの構築、医療安全講習会のシステム化、医療安全に関わる情報の収集と発信を適切に行うシステムの構築を実施した旨、報告がされた。

・前回の理事会にて承認された第三者委員および鑑定医の推薦システムについて、内規を改訂した旨、報告がされた。

・本年の医療安全講習会については東京慈恵会医科大学の海渡健先生に講演を依頼した旨、報告がされた。会期中は3回(2回はビデオ)開催し、出席の確認は前回と同様に行うことが説明された。

7. 保険診療・臨床試験委員会報告：三浦大委員長 代理：安河内聡理事長

・先天性心疾患学会、JPIC学会、胎児心臓病学会、小児MR研究会と共同で、心エコー、CRT、PV perforation、BASの新生児加算を診療報酬改定要望として提出した旨、報告がされた。

・治験推進については現在2社と交渉を行っており、契約書の作成を進めている。

・前回の理事会にて承認された第三者委員および鑑定医の推薦システムについて、内規を改訂した旨、報告がされた。

・ニトロプルシッド使用実態調査進捗については厚労省の確認を受け計画書を修正中であり、承認が得られ次第、実態調査を開始予定である旨、説明がされた。

8. 社会制度委員会報告：賀藤均理事

8-1 成人移行医療検討委員会：白石公理事

・看護師と協同した患者教育、診療以降のために必要なツールやシステムの開発、各地域での循環器内科との連携体制モデル構築、高度な専門性に見合った診療加算の獲得に向けた提言を準備中である旨、報告がされた。

8-2 男女共同参画検討委員会：岩本眞理理事

・本年の学術集会でも学会も託児所を用意しており、費用負担に関しては今後も検討していく旨、報告がされた。

・男女共同参画のセッションを来年の学会から設ける提案を学術委員会に提案することを検討している旨、報告がされた。

8-3 蘇生科学委員会：太田邦雄委員長 代理：安河内聡理事長

・生徒(小中高生)の心原性院外心停止の人口レベルの全国登録研究、学校管理下AEDの管理運営に関するガイドライン作成中である旨、報告がされた。

9. 臓器移植委員会報告：福嶋教偉委員長 代理：市川肇理事

・心臓・肺移植患者の予後調査、移行医療推進活動、所属施設の臓器提供体制整備の調査と協力、小児心臓移植施設・VAD施設の体制整備(施設認定基準の制定)、CHDに対する心臓移植適応基準の検討をしている旨、報告がされた。

・移植の施設基準を作成中であり、4-5月に開催される関連学会協議会で承認され6月頃に公表見込みである旨、報告がされた。

10. 倫理委員会報告：掛江直子委員長 代理：山岸敬幸理事

- ・5月30日改正個人情報保護法が施行されるため、4月の委員会で倫理指針の見直しを行い、理事会の承認を受ける予定である旨、説明がされた。

11. 利益相反委員会報告：野村裕一理事

- ・2月に改訂予定であった日本医学会のガイドラインが更新されておらず、本学会の細則としても具体的な変更ができない状況である旨、報告がされた。

IV. 閉会

- ・以上をもって議事が終了し、議長より閉会が宣言された。

以上